



学校だより

《学校教育目標》 (知) 主体的に学ぶ生徒

(徳) 正しく判断できる生徒

(体) 心身を鍛える生徒

<No. 8> 平成30年11月1日

さいたま市立白幡中学校

〒336-0022 さいたま市南区白幡 2-18-13

TEL048-861-3203 (学校)
866-5789 (相談室)

<http://shirahata-j.saitama-city.ed.jp>

白幡中、実りの秋

校長 今溝良司

すっかり秋めいて朝の気温は10度ほどになり、この秋一番の冷え込みのフレーズが天気予報で聞かれるようになりました。「冬隣」などの懐かしい言葉もこの時期の言葉でしょう。先月は新人戦、中間テスト、中学校駅伝大会、合唱祭と、生徒も先生もとても忙しい時間を過ごしました。新人戦では各部活とも熱戦を展開し、中でも女子卓球団体が第3位(ベスト4)にまで勝ち進み見事な成長ぶりを見せ、県大会には剣道の個人などとともに出場します。市内唯一のダンス部の活躍も目覚ましく、全国小中学生ダンスコンクール東日本大会(8/18)において金賞を受賞、4年連続で全国大会出場(10/14)の栄冠を勝ち取り、見事銀賞受賞に至るほどの充実ぶりです。全国各地からの参加チームは、(私が見る限り)舞踊系、ヒップホップ系、ジャズダンス系、ストリート系など様々なジャンルのダンスを発表し、私も現地へ応援に伺いましたが、わが白幡中ダンス部の発表はストーリー性があり、とても難しい構成を見事な表現力で発表してくれました。10/23には寒い曇り空の下さいたま市中学校駅伝大会が行われ、石井遥大君の第5区区間賞をはじめ各選手とも力走を見せてくれました。結果は女子35位/59校、男子38位/59校でしたが、チームとしての練習成果が伺えました。ここ数年低迷していた白幡中ですが復活の兆しを感じます。チームで走ることへの価値を見出し、思いのこもった襷(たすき)をつなぐ駅伝ならではの魅力を感じた選手もいました。来年は県大会出場を目指そうではありませんか。

先日の合唱祭には、たくさんの保護者・地域の皆様にもご鑑賞いただきありがとうございました。今年度は特別審査委員として、以前本校にお勤めだった(平成4年~9年度)教育委員会の石山大介先生をお招きし、ゆったりと時間をとり一日開催としました。各学年合唱やクラス発表のたびに感激の連続でした。どのクラスも心ひとつにして練習してきたに違いありません。しかし、入賞クラスは「やったー!」「努力が報われた」とも、入賞を逃したクラスは「もっと練習の時にしっかりやればよかった」などとも思う人もいるかも知れませんが、他との比較・結果がこれまでの取り組みの成功や失敗を表すものではなく、手間暇の掛け方、互いの声の掛け方を学んできたことに間違いなどありません。今年のクラスも残すところ5ヶ月となりましたが、それぞれのクラスならではの描いた「合唱という絵」を毎日の学校生活の中で更に磨きあげ、それぞれの学年を卒業するときにもう一度歌ってみてはどうでしょう。指導講評で石山先生から真剣に取り組んでいる様子や、きれいな響きを大切にしている、選曲のセンスが良い、マナーが良いなどとたくさんお褒めの言葉をいただきました。さらに一段の成長に向けて、歌の基本は歌詞に共感すること、そしてそれを相手にどう伝えるかを考え表現するかが大切であり難しいところ。その一歩として呼吸が大切なこともご教授いただきました。

何事も年齢や経験による自然発達・成長だけを待つのではなく、生徒の皆さんが自ら主体的に取り組むことに自信が持てるほどに繰り返し練習し、たくさんの失敗しながらもその中から上達するヒントを身に付けることが大切なのでしょう。秋の実りの作物もただただ自然の環境だけではうまく育ちません。多くの作物は年に一回の収穫時期に合わせ、成長しやすい環境、収穫量が増える環境、好まれる味に育つ環境などなど、人々が環境を作っています。またその環境によって人もまた生きています。どうか自分自身の手で環境を整えてください。思いを込め、丁寧に粘り強く一つひとつを大切にすることこそ、皆さんにとっての実りの秋になると思います。